

ありがとう

題字 加登互川

ご挨拶

藤本 貴洋



伊丹市芸術家協会会員の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

過日の伊丹市芸術家協会総会におきまして、北里桂一生から代表幹事を造形部門・彫塑の藤本貴洋が引き継ぐことになりました。よろしくお願いたします。

前任の北里先生には創設会員として大谷代表幹事時代から三十八年間、代表幹事としては二十年間、本会の事業や活動に深くかかわっていただき今日の伊丹市文化行政に多大なご尽力をいただきました。この場をお借りいたしました改めてお礼申し上げます。

さて私は本会で新人奨励賞

をいただき、この会に参加するようになり三十年を越えるようになりました。ある意味ではこの会で育てていただいた第二世代かと思えます。北里先生からは「この会には会長とか委員長と言ったものはあれへんねん。」とよく聞かされました。

代表幹事というのはあくまでそれぞれの部門から選ばれた幹事の代表であつて調整役。

部門幹事の合議制で民主的に会を進めていくのがこの会のモットーであると言われてきました。上意下達型の組織ではなく伊丹に集う様々なアーティストが活発に交流できる場がこの伊丹市芸術家協会であると思っています。今後代表幹事としてそれを少しでもサポートできれば幸いです。

会員皆様方がそれぞれのフィールドで益々活躍されることを祈念いたしましてご挨拶にかえさせていただきます。

伊丹市芸術家協会

総会を開催



五月十七日(土)、東りいたみホールで「令和七年度伊丹市芸術家協会総会」を開催しました。令和六年度事業報告及び決算報告、令和七年度事業計画及び予算についての議案はすべて承認されました。

今後の主な事業は、「新人賞・新会員の選考会」及び「新人賞表彰式」、来年二月「舞台・芸術事業」、三月「芸術家協会展及び展覧会関連事業」の開催を予定しています。

第三十二回 伊丹・平和の美術展 を開催

八月十四日(木)から十八日(月)まで、東りいたみホールで「第三十二回伊丹・平和の美術展」を開催しました。

伊丹市芸術家協会を中心に伊丹美術協会・ポプラの会・働美協会・祥彩会による実行委員会形式により実施し、絵画や工芸、書、写真、彫刻、



デザイン計六十三点の作品を展示、どの作品も心に訴えるものがあり、五日間で三百九十二人にご来場いただきました。ご来場いただいた皆様が、作品に触れることで、心を解放し、平和への思いを新たにすきつかけになれば幸いです。

ギャラリーコンサート を開催

八月十六日(土)、「伊丹・平和の美術展」の会場内で、ギャラリーコンサートを開催しました。

午前は、「ホルンのミニコンサート」ホルンの歴史や仕組み。朝にぴつたり爽やかなモーツァルトの演奏からミニコンサートはスタートしました。池田重一さんによる興味深いホルンの解説に来場者は笑い、頷き、また温かく柔らかなホルンに石井晴香さんの華やかなピアノが調和し、心地よい響きが会場を魅了しました。



池田さんと石井さん



ギャラリーコンサート
ホルンのミニコンサート ～ホルンの歴史や仕組み～

午後は、「きらめく午後のコンサート」Violin & Piano」と題し、ヴァイオリンの小山亜希さんとピアノの大富菜里子さんの息がぴったりあったアンサンブル。小山さんの平和への祈りが込められた丁寧な曲紹介の後、名曲の数々が披露され、アンコールの曲が終わるまで来場者は始終うっとり聴き入っていました。



小山さんと大富さん



ギャラリーコンサート
きらめく午後のコンサート ~Violin & Piano~

民謡「元唄 貝殻節」と バレエのコラボ 門脇 早苗

私は鳥取県米子市で生まれ、尼崎で育ちました。幼少よりバレエを学び、伊丹でバレエスクールを開校。いつかバレエ発表会で、島根県民謡・安来節に合わせ生徒達に「どじょうすくい」を踊ってもらいたいと考えていました。母の病によりスクールを閉校。米子市の母の実家に帰



松弘美民謡ショーにて
先生(中央左)、筆者(中央右)

郷したため、叶わぬ夢となりました。

帰郷した米子で民謡を学びたいと思い、出会った先生が、民謡プロ歌手の佐藤松弘美先生。三味線を弾きながら歌ってくださる先生のご指導に感動し、先生の唄に合わせバレエを踊りたいと思うようになりました。

以心伝心でしょうか、先生から「私の民謡ショーでバレエを踊ってください」と提案があり、昨年十一月ホテルニューオータニ鳥取で、鳥取県民謡「元唄 貝殻節」に合わせバレエを踊りました。「元唄 貝殻節」は、厳しい漁を

する時に歌われた労働歌、心を込めて踊りました。

また、今年二月、鳥取市から佐藤松弘美先生やお囃子・三味線・尺八・太鼓の先生方を、そして関西からプロバレエダンサーの古川満さんを招き、米子市公会堂で、松弘美先生が歌う「元唄 貝殻節」に合わせバレエを踊りました。心に響く民謡に華やかなバレエが加わり、客席から拍手や歓声が上がりました。一体化し感動しました。

これからも日本文化の民謡を、バレエを踊りつつ広めていきたいと思っております。



米子市公会堂にて
筆者(左下)、先生(中央)、古川満さん(右下)

活動支援事業

磨赤兒「ガドウインの 河を渡るとき」写真展 宮内 文雄

今回、伊丹市芸術家協会会員に推挙いただき、ギャラリー蔵のオーナであり協会理事の池本さんのお勧めもあり、伊丹で初の写真展を開催いたしました。

五十年に渡るライフワークである大駱駝艦 磨赤兒の写真六十数点を越前美術和紙にプリントし、ゆかりのある音楽を流しながら特異な空間を創出することができました。

北は北海道、南は沖縄まで全国から友人たちが、また五十年ぶりの関西の友人が駆けつけてくれました。さらに、朝日新聞、読売新聞でも取り上げられ、合計三百人近い方に来場をいただきました。関西移住の証として、有意義な時間を過ごすことができました。

今回の成果として、来年京都での個展依頼や神戸、東京での開催も展開できそうです。来年も個展開催が出来るように準備していきたいと思えます。

これからも伊丹における文化、芸術の発展に寄与できるように精進してまいります。



宮内文雄写真展 磨赤児「ガドウィンの河を渡るとき」

会員活動通信

(50音順)

〈邦楽〉		
奥野 英子 エラールピアノフェスティバル 第64回ひまわり会ピアノコンサート (ゲスト出演) Bridges of Sound ～音楽の架け橋 (ピアノとフルートのコンサート) ピアノとフルートのレクチャーコンサート	ハンブルク音楽院 (ドイツ ハンブルク)	10月1日(水)
	兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール	10月26日(日)
	いたみホール 多目的ホール	2026年 3月5日(木)
	兵庫県立美術館	3月7日(土)
菊井 松音 大阪 NOH フェスタ in てんま天神 第72回大阪三曲協会各派名流三曲定期演奏会 初代菊井松音二十七回忌追福 菊井寧楽社 第55回定期演奏会	大阪天満宮 朝暘会館	10月30日(木)
	国立文楽劇場大ホール	2026年 2月8日(日)
	兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール	3月29日(日)
菊葉真 うさぎ こうべ邦楽ワークショップ主催 「日中音の架け橋プロジェクト」	上海～蘇州各所	11月23日(日)～27日(木)
山村 若萌紀 日本舞踊協会 大阪東地区「しののめ会」竹生島 ラスタ生涯学習フェスティバル シルバー文化作品展・ステージ	国立文楽劇場小ホール	11月15日(土)
	ラスタホール多目的ホール	2026年 2月下旬
	伊丹市立サンシティホール	3月上旬

編集・発行 伊丹市芸術家協会

[事務局] 伊丹市文化振興課

〒664-8503 兵庫県伊丹市千僧1丁目1番地 TEL 072-784-8043 FAX 072-784-8048